

市長室から



宇城市長 阿曾田 清

宇城市の管理職員たち (金曜日の朝礼集)

「三大改革を進めるにあたり、最も大事なことは意識改革である」。言葉では何とも言えますが実行すると簡単ではありません。

市長に就任して一年、意識改革の第一歩は自分が変わること、

人に変われと言う前に自分が変わる、自分が変われば人も変わるし、職場も変わる。その基本はまずあいさつ、二に時間厳守、三に整理整頓・清掃、670人の全員が実行し、その上、プラス1(ワン)を日々の生活に取り入れていこうと繰り返し言ってきました。私だけでなく部長も部下に指導してくださ

いとお願ひしてきました。就任して驚きましたのは、旧町時代、定例の管理職会議や朝

※平成20年12月の市長談話室は5日(金)の予定です。参加ご希望の人は、総合政策課(☎321111)へ11月20日(木)までお申し込みください。

礼が行われていなかったということです。

民間では毎週、あるいは毎日朝礼をしているところもありま

す。行政ではまったく行われていないというのは、必要なかつたからでしょうか。それとも変化もなく緊急性がなかったからでしょうか。

全職員が同じ方向に向かうためには認識を共有することが不可欠で、皆で力を合わせるにはコミュニケーションが大切

であります。

それが行われてこなかったこと、市の存在価値、市民の期待感が高まらなかったゆえんがあるのではないだろうか。

就任と同時に部長会議(次長クラス以上)を金曜日の午前8時から、朝礼を毎週月曜日の午前8時25分に行っています。宇城市の市歌(伸びゆく宇城市)ができて以来、毎朝8時20分に館内放送で流れるようにしており、同時に朝のラジオ体操も行なうようになりました。

一年が経って、「私だけが職員に講話するのではなく、管理職の全員に毎週金曜日の始業前8時25分に、それぞれが感じていることを発表してもらいたい」と提案したら、全部長猛反対でした。反対

の理由は、「市民に迷惑を掛ける、聞く者はいない」でしたが、自分の伝えたいことを話すことに慣れていないというのが拒否の理由だと感じました。

「だからこそ言いたいことをまとめ、皆に伝える能力が公務員には必要ではないでしょうか」と半ば強制的に進めたところ、それはそれはすばらしいスピーチの数々で、おのおのがいい考えを持っていることがわかりました。

話すために原稿を書き、原稿を書くために調査する。管理職員からはやってよかったという声が多く、部内課内の職員も、今日部長が課長がスピーチするからと、何を話すか興味を持って聞き入っているようです。

平成18年10月からこれまで100人あまりがスピーチを行ってきました。そして、これを集めた「明日への夢を熱く語る」宇城市の幹部たち」という小冊子を今、手作りで作成中です。12月中旬には出来上がりですので、必要な方は総務課まで申し込んでください。無料で差上げます。



市民病院便り

市民の皆さんに病気に関する知識を深めて、健康のため生活改善に生かしてもらおうと市民病院の連載をお届けしています。

心臓病でどんな病気なの？ (第3回)

こんにちは。宇城市民病院循環器科の掃本です。今回で3回目の連載になります。前回までは、「心臓が悪い」とはどういうことか、そして、重症の心不全に対し薬物療法のみでなく、両室ペースメーカーというこれまでのペースメーカーとはまったく考え方が違うデバイス(装置、機器)が使用されるようになったこととお話ししました。心筋症と呼ばれる筋肉の病気だけでなく(9月号の1の項目です)、心筋炎、心筋梗塞の後遺症として重症心不全を呈するようになったとしても適応になることがあります。さて、9月号の表を思い出してください。心臓病にならないようにできるのでしょうか。9月号の表に病気の要因を書き足してみますと(かなり極端に記載しますが)、

1. 心臓の筋肉(心筋)そのものが悪い→心筋症
生まれつき or **あとから(例えば、高血圧性心臓病)**
2. 心筋を養う血管が悪い(心臓動脈と言わず冠動脈といいます)→冠動脈疾患(虚血性心臓病；狭心症、心筋梗塞)
なりやすい因子：**高血圧、糖尿病、脂質異常、喫煙、肥満**
3. 弁(バルブ)が悪い→弁膜症
防ぎようがないかも

4. 心臓が“風邪”をひいた(感染症)
→心筋炎、心膜炎、心内膜炎
う歯(虫歯)を治療する、いわゆる“風邪”を軽視しない
5. 脈がおかしい→不整脈
防ぎようがないかも
6. 心臓から出てる大動脈が悪い
→大動脈瘤、大動脈解離

高血圧が関与

見ておわかりのように、色字のいわゆる、生活習慣病(以前は成人病と呼ばれてましたね)の改善により予防できるものもあるということです(すべてではなく完全ではありませんが)。高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満などは動脈硬化をベースとした狭心症、心筋梗塞、脳卒中などのリスクとなります。話はそれますが、今放映中の大河ドラマの篤姫は、48歳の若さで脳卒中で亡くなったと言われています。私の推測では高血圧をお持ちではなかったのかなと思います。

熊本大学医学部附属病院 循環器内科
心血管治療先端医療講座講師
掃本 誠治(ほきもと せいじ)

食育講演会のお知らせ

講師 **西田吉房さん** テーマ **食べ物が人を育む**
(食育コーディネーター・ミネラル研究家)

今話題の「食育」ご存じですか？平成18年7月に「食育基本法」が制定され平成19年3月に施行されました。食に対する関心は高まるばかりです。現代社会において食べ物の質が変わり、食生活が乱れて、私たちが気付かないうちに、あるべき栄養素が激減してしまいました。その結果、生活習慣病、ガン、糖尿病、心筋梗塞、自殺、肥満、キレイやすい人が急増しているのが現状です。そういった現実をもとに「食は命」ということを西田先生の軽妙な語りで楽しく学べます。

日時 **11月27日(木) 午後1時30分～3時**
場所 **ウイングまつばせ コミュニティーホール**
会費 **無料**

問 熊本食を考える会 ☎096-364-2130
健康づくり推進課 ☎32-1111(内線1147)



アレキサンダー・トウイグ先生の

日本つれづれ日記



台風シーズンも、もう終わったようですね。9月、10月は世界中で最も台風の多い季節です。皆さんにとって台風は見慣れた光景でしょうかが私にとっては珍しいことです。

南アフリカでは台風はめったに起こりません。南アフリカの北の方、モザンビーク共和国の近くでたまに起こるくらいです。私たちは「台風(タイフーン)」とは呼ばず、「サイクロン」と呼んでいます。

私はインターネットを使って「台風(タイフーン)」、「ハリケーン」、「サイクロン」の違いを調べました。

どんな違いを見つけたと思いますか！何と、違いはなかったんです。違うところと言えば、名前と世界のどこで起こるかということだけです。

大西洋では「ハリケーン」と呼ばれ、インド洋、南太平洋、オーストラリア周辺

などでは「サイクロン」と呼ばれています。そして、北太平洋、アジアでは「台風(タイフーン)」と呼ばれているのです。

私は台風を目の当たりにしたことはありません。去年、日本に着いたとき、台風が来ましたが、眠っていて、起きたときには通り過ぎていました。だから、台風がどのようなものかよく分かりません。

私は動物が大好きなので、台風の間、必ずペットを暖かく安全なところへ移すことを忘れないで欲しいと思います。

